



2020年3月26日

各位

会社名 株式会社イントランス
 代表者名 代表取締役社長 濱谷 雄二
 (コード番号 3237 東証マザーズ)
 問合せ先 管理本部 総務課課長 安藤 智隆
 (TEL 03-6803-8100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえて、当社は本日開催の取締役会におきまして、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2020年3月期 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,300	300	130	120	3.24
今回修正予想(B)	1,170	△810	△850	△870	△23.47
増減額(B-A)	△2,130	△1,110	△980	△990	—
増減率(%)	△64.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	2,752	375	367	55	1.50

※修正予想値は監査法人による監査前の速報値

(2) 修正理由

売上高の未達理由につきましては、昨日発表致しました「販売用不動産(信託受益権)の売却に関するお知らせ」のとおり、信託受益権(和歌山マリーナシティ内3施設)の売買契約は昨日行われたものの、決済予定日が2020年5月29日(予定)となり、当初計画において2020年3月期中の計上を見込んでおりました売却収益が今期業績に反映されないためであります。

各利益の未達理由につきましては、上記記載のとおり、信託受益権の決済予定日のずれ込みが主要因であることに加え、新型コロナウイルスの感染拡大とその影響の長期化が想定されるなか、当社が営む横丁事業におきまして、1月以降来店客数が急激に落ち込み、先行き不透明なため、当初想定しておりました

期待利回りが見込めない状況にあります。このようなことから、昨年から展開しておりました横丁事業につきましては、まだ開業に至っていない3か所（高崎、和歌山、松山）の事業中止を決定したことから、横丁施設の開業後に計上する予定でありました開業に係わるコンサルティング費用を今期中に計上するためであります。

以上の理由を主要因として、2019年5月10日に発表致しました2020年3月期連結業績予想数値を修正することとなりました。

このように、2020年3月期につきましては大幅減収・減益見込みとなりますが、インバウンド関連事業の早期収益化及び安定的な収益・財務基盤の確立に向けて全力で取り組んでまいりますので、引き続き、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上